

区分	専門分野	単位	1単位
科目名	成人臨床看護Ⅲ	時間数	30時間
講師名	非常勤講師	履修学年	2年次
概要	成人期にある対象の健康障害を経過別（回復期リハビリテーション）に理解し、健康のレベルに応じた援助の方法を学ぶ。		
学習目標	1．成人期にある回復期リハビリテーションが必要な対象を理解できる。 2．回復期リハビリテーションが必要な対象の看護が理解できる。		
授業内容			
回数	学習内容	授業形態	
1	リハビリテーション看護を必要とする人	講義	
2	リハビリテーション看護の独自性と専門性	講義	
3～6	運動機能障害（骨折）のある対象の看護 1) 骨折の基礎知識 2) ギプス固定・牽引法を受ける患者の看護 3) リハビリテーションの流れ 4) 生じやすい看護上の問題と看護 （ＡＤＬ自立に向けた援助、合併症の予防、退院指導等）	講義/演習	
7～11	循環障害のある対象の看護 1) 虚血性心疾患の基礎知識 2) 虚血性心疾患の検査と治療に伴う看護 3) リハビリテーションの流れ 4) 生じやすい看護上の問題と看護 （ＡＤＬ自立に向けた援助、再発・合併症の予防、退院指導等）	講義/演習	
12～15	脳血管障害のある対象の看護 1) 脳血管障害の基礎知識 2) リハビリテーションの流れ 3) 生じやすい看護上の問題と看護 （ＡＤＬ自立に向けた援助、再発・合併症の予防、退院指導等）	講義/演習 試験	
使用教科書・教材・参考書			
新体系看護学全書 別巻 リハビリテーション看護 メヂカルフレンド社			
新体系看護学全書 成人看護学⑪運動器 メヂカルフレンド社			
新体系看護学全書 成人看護学③循環器 メヂカルフレンド社			
新体系看護学全書 成人看護学⑥脳・神経 メヂカルフレンド社			
成績評価の方法			
筆記試験100％(整形外科看護40％、循環器内科看護30％、脳神経外科看護30％)			
備考			
15回全て合同講義			
状況により講義順番の変更あり			